ツアー番号
LKVHVF2HK2

風光明媚なセレンディブ（11日間）

10日間・9泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この11日間のツアーは文化三角地帯から南海岸まで運行され、ダンブッラの寺院遺跡、キャンディとヌワラエリヤ周辺の山地、エッラ高地、ヤラ国立公園、ガレとネゴンボの沿岸の町々を巡ります。移動は専用車両とシャフェール付きガイドで行われるため、各日は地域間の移動と沿路の寺院、庭園、プランテーション、公園での立ち寄りが組み合わされています。

ハイライトには、シーギリヤ・ロック・フォートレス、キャンディの聖歯寺院、ヌワラエリヤ近郊の紅茶プランテーションとホートンプレーンズ、エッラ周辺のハイキングコースと橋、ヤラ国立公園のサファリドライブ、ガレのオランダ砦が含まれます。ルートはまた、北東海岸のヒンドゥー寺院とピジョン島の珊瑚礁も訪れ、出発前にコロンボのランドマークも見学します。

ペースはダンブッラ、ヌワラエリヤ、ヤラでの2泊の滞在と組み合わせた短い都市滞在を混ぜており、各地域を探索する時間を与えながら常に荷物を詰め直すことなく、キャンディ、エッラ、ガレ、ネゴンボでの短い1泊の滞在は地域間の移動を続けています。



日程詳細

1日目 ダンブッラ(1〜2日目)

ダンブッラを拠点に2日間、文化三角地帯と北東海岸沿いのさらに先にある見どころを巡ります。



ムンネーシュワラム寺院

少なくとも西暦1000年まで遡る、この地域で重要なヒンドゥー教寺院群。ラーマーヤナとその英雄王ラーマの伝説に結びついており、シヴァ神を祀るこの地域の5つの古代寺院のひとつです。

Leon Meerson · CC BY-SA 2.0



コネスワラム寺院

インドの聖詩人たちに称えられた古代寺院で、その歴史を描いた壁画や、紀元前1580年に遡る洞窟聖堂があり、本殿は紀元前400年頃に建てられました。ここで礼拝したと伝えられるラーヴァナ王の巨大な像が境内に立っています。

Shamli071 · CC BY-SA 3.0



ピジョン島国立公園

サンゴ礁に囲まれた大小2つの島からなる国立公園です。ここではイワバトが繁殖しており、島々ではサンゴの種類や海洋生物を観察できます。

AntanO · CC BY-SA 4.0

3日目 ダンブッラ → キャンディ

キャンディへのドライブでは、シーギリヤ・ロック・フォートレスとスパイスガーデンを訪れ、夜はカルチャーショーを楽しみます。



シーギリヤ・ロック・フォートレス

かつてカーシャパ王が統治した5世紀の岩上要塞で、巨大なライオンの爪で縁取られた入口から登っていきます。登る途中には有名な壁画、段々畑の庭園、今も使われている貯水池、そして頂上の宮殿跡へと続くトンネルがあります。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



スパイスガーデン

コリアンダー、チリ、シナモン、カルダモン、ナツメグなどが栽培されるスパイス&薬草園をガイド付きで見学し、続いてロティやカレーパウダーなどスリランカ料理の作り方を紹介する伝統的な調理デモンストレーションを見学します。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



キャンディアン・カルチュラルショー

火を使う踊り、剣舞、太鼓の演奏に合わせて踊るキャンディアンダンサーなど、スリランカの舞踊や伝統芸能を1時間にまとめたショーです。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

4日目 ヌワラエリヤ(4〜5日目)

ヌワラエリヤとその周辺を巡る2日間。まず道中で仏歯寺に立ち寄り、その後は茶畑地帯、ホートンプレインズ、そしてヌワラエリヤの町自体を訪れます。



仏歯寺

16世紀に仏陀の聖なる歯の遺物を納め守るために建てられたユネスコ世界遺産で、彩色された広間、彫刻の施された柱、金箔を施した仏像があります。

A.Savin · FAL

茶園

セイロンティーがどのように作られるかを見学する製茶工場と茶園への訪問です。1824年に英国人によって初めて茶の苗木がこの島に持ち込まれ、1852年からジェームズ・テイラーによって商業的な茶園が開かれた歴史をたどります。



ホートンプレインズ

オヒヤにある高原草原と雲霧林からなる国立公園で、ワールズエンドからの眺望やベイカーズフォールズの水しぶきを楽しみながら、固有の野生動物を観察できるチャンスもあります。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0



ヌワラエリヤ

19世紀から20世紀初頭にかけて英国人の主要な避暑地として栄えた高原の町で、街路沿いにはコテージや別荘、邸宅が並び、赤レンガの古い郵便局、ヴィクトリア女王公園、グレゴリー湖の湖畔などが残っています。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

6日目 ヌワラエリヤ → エラ

ルートはさらに南東へ進み、茶畑に覆われた丘と雲霧林に囲まれた小さな町エラへと続きます。



エラ

茶畑と岩の多い小道を進むと、リトル・アダムスピークの眺めが広がります。その後、ナインアーチブリッジを歩いて渡り、ループ状の線路で知られるデモダラ駅へと向かいます。

Dan arndt · CC BY-SA 4.0

7日目 ヤーラ(7〜8日目)

スリランカで最も人気のあるヤーラ国立公園近くの海岸地帯で過ごす2日間で、その変化に富んだ地形を巡るサファリドライブを楽しみます。



ヤーラ国立公園

南東海岸にあるスリランカで2番目に大きな国立公園を巡るサファリで、スリランカヒョウ、ワイルドウォーターバッファロー、ナマケグマ、ゾウの群れをはじめ、その他の哺乳類、鳥類、爬虫類、魚類を観察できるチャンスがあります。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

9日目 ガッレ

旅はさらに海岸沿いを進んでガッレへ向かい、ラーマーヤナ伝説にゆかりのある2つの場所を訪れてから、オランダ要塞に到着します。



ウッサンゴダ・ビーチ

有毒な重金属を含む蛇紋岩が露出した、植物がほとんど育たない沿岸地帯で、特定の植物のみが耐えられる環境です。地元の伝説では、その焦げたような地表はハヌマーンの燃える尾、そしてかつてラーヴァナ王の戦車が着陸した場所であったことに結びつけられています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ルマッサラ

ガッレの東にある丘で、頂には白い仏塔が建っています。伝説によれば、これはハヌマーンが落としたドロナギリ山の一部であり、シータがランカーに滞在した際にもゆかりのある場所とされています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ガッレ

1663年からオランダ人によって築かれた要塞都市で、三方を海に囲まれた岬に位置し、城壁や通り沿いにはオランダ植民地時代の建物が残り、ユネスコ世界遺産に登録されています。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

10日目 ガッレ → ネゴンボ

最終日はネゴンボを拠点とし、出発前にコロンボの名所を見学する時間を取ります。



コロンボ

オールド・ライトハウス、旧国会議事堂、ガッレフェイス・ホテル、ガッレフェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館などの名所に加え、独立記念広場やレースコース周辺の店々も訪れます。

Gihanud2001 · CC0

出発

朝食後、チェックアウトして空港へ送迎し、出発となります。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.